



黄金の森

2024年 8月 30日発行
南風原町立 南風原中学校
発行者 校長 比嘉智也
校長だより第9号

【教育目標】 目標を持ち自ら学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で忍耐力のある生徒

プラス思考で『幸せ』をつかもう！

27日から2学期が始まりました。生徒の皆さん、2学期はどんな学期にしていきたいですか。学校では、皆さんには将来、それぞれの『幸せ』をつかんで欲しいと思っています。一人ひとりが将来の『なりたい自分』に向かい、自分自身の行動を正しい判断で自己決定できるようになってください。そのためにも、常に前向きな言葉を吐き、壁を乗り越える力をつけていきましょう！

前向きな言葉を『吐』こう！



左に口、右にプラス(+)とマイナス(-)を書いて『吐』という字になります。

口からは、前向きなプラス志向の言葉や後ろ向きでマイナス志向の言葉など、様々な言葉が発せられる、いわゆる『吐』かれるということです。

いつも、口からマイナスの言葉ばかりを発しては、どんどん前に進める感じがしませんし、自分の目標や夢を達成することにもつながらないように感じます。

では、マイナス志向の言葉は言わないようにする、つまり『吐』くという字からマイナス(-)を取ってしまうと何という字になるでしょう。

それは、『叶』という字になります。自分の口から前向きな言葉を発することで、『プラス思考』で、自分のテンションをあげて、目標や夢の実現に向かってひたすら努力していく。

そうすることで、『目標や夢が叶う』ということになります。

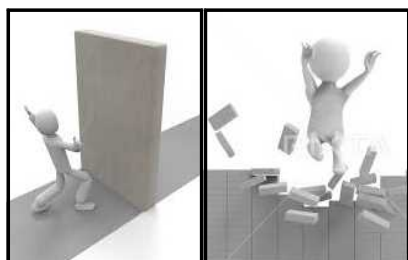
これから皆さんも、自分のペースで、何事にも真剣に取り組み、自分の口から発せられる一言一言に気をつけながら、常に前向き(+)な言葉を『吐』いていき、『夢が叶えられる』ようにしていきましょう。

『難』があることを幸せに感じよう！



『難』という字には嫌なイメージの言葉が多い感じがしますね。

「困難(こんなん)」「苦難(くなん)」「災難(さいなん)」「難儀(なんぎ)」などですから、



『難』はない方がいいと思ったりもします。

しかし本当に、『難』は無いほうがいいのでしょうか？

『難』が「無くなる」と、「無難(ぶなん)」となります。

『難』が無いというのは「無難な人生」「変化のない人生」となります。ところが、「無難な人生」「変化のない人生」は『幸せ』なことなのでしょうか？

また、『難』の無い人生を歩むということは可能なのでしょうか？

では逆に、『難』が「有る」場合はどうなると思いますか？

『難』が有ると書くと「有難う(ありがとう)」となります。

つまり、『難』があるというのは「有難いこと」なのです。

『難』、つまり乗り越える壁があるということ。「壁」を乗り越えるということは、パワーのいることですが、「プラス思考」で考えると、それは挑戦することがあるということにもなります。

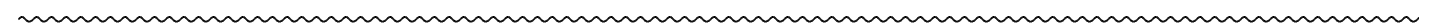
その『難』が「有る」ことを、『幸せ』として感じる事が出来るか、あるいは不幸として感じるか。やはり、『難』が「有る」ことを、「プラス思考」で『幸せ』だと感じて、前に進むことが『幸せ』な人生に繋がるのではないかと思います。

これからは『難』があっても、「プラス思考」で考え、乗り越えるべき「壁」に向かって挑戦していきましょう。『難』があるのは「有難い」ことなのですから…。



生徒の皆さん、これから歩いていく未来、この2つの漢字『吐』や『難』を頭に置きながら、常に「プラス思考」で頑張って、自分なりの『幸せ』をつかんでいきましょう。

これから皆さんが、夢を叶えるために壁(挑戦すること)をどんどん乗り越えていくことを期待しています。



校長クイズ

- 1 持っている服で一番いい服は何？
- 2 押すと気持ちいい、落とすと割れるものは何？

前号クイズの解答

- 1 9(嗅覚)
- 2 天ぷら屋